



耐水圧タイプ

シームテープ付き
帯電防止加工済み

LIVMOA® 4500AS

JIS T 8115 化学防護服タイプ4 (スプレー防護用密閉服) 適合
 JIS T 8115 化学防護服タイプ5 (浮遊固体粉じん防護用密閉服) 適合
 JIS T 8115 化学防護服タイプ6 (ミスト防護用密閉服) 適合

WBGT 着衣補正值 0°C 素材

適した業種・作業

廃棄物焼却施設、化学プラント、メンテナンス、汚れ作業、アスベスト除去

詳細はこちら ▶



廃棄物焼却施設や製造設備の定期修繕作業など耐水圧を必要とする作業現場※1でもご使用可能です。当社独自の SMS 製法※2 により粉じん防護性と耐水圧 1,000mmH₂O※3 に加え、通気性、帯電防止機能を有する新しいタイプの防護服で縫い目部分にシームテープを付けています。

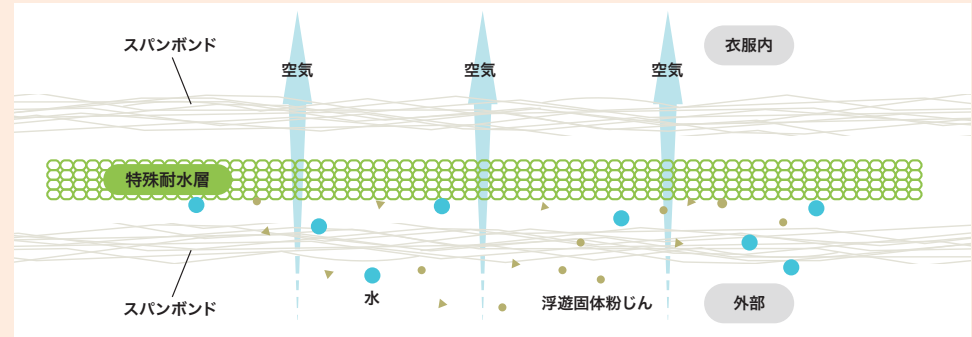
※1 廃棄物処理施設のダイオキシン類対策で使用される防護服は、現場の環境に応じた商品をユーザーの責任においてご選定ください。

※2 メルトブロー不織布をスパンボンド不織布で挟んだ多層不織布

※3 縫い目部分の耐水圧は 1,000mmH₂O 未達です。

耐水性

素材は緻密性の高い特殊耐水層（メルトブロー不織布）を耐久性の高いスパンボンド不織布で挟み込んだ 3 層構造です。粉じん防護性に加えて従来の SMS 製法では難しかった耐水圧 1,000mmH₂O を実現しながら、約 8cc/cm²・sec の通気性を合わせ持ちます。 ※データは測定値であり保証値ではありません。



耐摩耗性

JIS T8115 準拠の評価手法に基づいて、摩耗紙で 100 回摩耗した後のバリア性（耐水圧）を検証。単層不織布は、100 回摩耗後の生地に破れが発生し、耐水圧が著しく低下。一方、当社 LIVMOA® 4000AS/4500AS 生地は、生地に毛羽立ちは見られるものの、耐水圧はほとんど低下しません。

摩耗回数 (回)		0	100
LIVMOA® 4000AS/ 4500AS	試験後の生地外観		
	耐水圧 (mmH ₂ O)	1,244	1,079
単層不織布	試験後の生地外観		
	耐水圧 (mmH ₂ O)	1,236	85

機械強度

生地	LIVMOA®4000AS/ 4500AS	単層不織布
引張強さ (JIS L1096 ストリップ法)	180N/54N	84N/64N
引裂強さ (JIS L1913 トラベゾイド法)	31N/84N	26N/25N

仕様	<ul style="list-style-type: none"> フードゴム入 袖口ゴム入 前立タブ付 (接着テープ) ファスナー付 ファスナーカバー付 (接着テープ) 指入れゴム付 ウエスト背面ゴム入 足口ゴム入り 	サイズ	適応身長 (cm)
		特徴	<ul style="list-style-type: none"> 脱衣を助けるファスナー位置と前立タブ 動きやすさを追求した腰・ヒップまわり形状
M	168~176		
L	174~182		
XL	180~188		
XXL	186~194		

ご存知ですか？ — WBGT 着衣補正值 —

厚生労働省、都道府県労働局、労働基準監督署が展開する「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」では、熱中症予防への取り組みとして、「WBGT 値の把握」や「通気性の良い作業着の準備」など様々な対応を推奨しています。WBGT 値（暑さ指数）は、気温、湿度、風速、輻射熱（放射熱）、身体作業強度、作業服の熱特性を考慮した熱中症の発生リスクの有無をスクリーニングする指標です。着用する防護服によっては、作業現場で計測した WBGT 値に、以下の着衣補正值を加える必要があり、**防護服の素材選びも非常に重要**になっています。正しい知識を身につけ、適切に作業環境を評価しましょう。

衣類の組み合わせにより WBGT 値に加えるべき補正值（厚生労働省 職場における熱中症予防基本対策要綱より作成）

衣類の種類	作業服	つなぎ服	単層のポリオレフィン・不織布製つなぎ服※4	単層のSMS不織布製のつなぎ服	織物の衣服を二重に着用した場合
補正值 (°C)	0	0	2	0	3
つなぎ服の上に長袖ロング丈の不透過性エプロンを着用した場合	フードなしの単層の不透過性つなぎ服		フード付きの単層の不透過性つなぎ服	服の上に着たフードなしの不透過性のつなぎ服	フード
	4	10	11	12	+1

※4 ポリエチレンから特殊な方法で製造される布地

LIVMOA®は東レ株式会社の使い切り防護服ブランドです。